

第3回輪之内町合同家庭教育学級の報告

- 1 演 題 「子育てと親の役割<親業の大切さ>」
- 2 期 日 令和元年12月2日(月)
- 3 時 間 13時30分～15時20分
- 4 場 所 輪之内町図書館 学習室
- 5 講 師 親業訓練協会 松尾千景シニアインストラクター
- 6 参加者 合計 15名

◇ 内 容

- ・子どもとのコミュニケーションがちゃんとできるか。
- ・子どもたちのために厳しく接した親と、放任の親でどちらの子が問題を起こすか。厳しい親ほど、子どもが問題行動を起こす傾向にある。
- ・子どもに困っていることは何と聞くと、友達関係をあげる子どもが多い。親子のコミュニケーションのよい機会となる。
- ・子どもが感情を吐き出したい時には、親として子どもの話を聞くことを大切である。
- ・子どもにかける言葉は、認め、褒めるを意識すると子どもは伸びる。子どもの自己表現力や考える力を養うためには、親が聞いてあげることが大切である。
- ・子どもに嫌なことがあった際、泣いたり、おこったり、黙ったりすることがある。この時も聞いてあげることが大切。受け止めてもらえると、子どもは安心感をもつ。訴えを分かってもらえれば、子どもは心を開くようになる。親が能動的な聞き方をし、相づち、繰り返し、言い換える等をするとうい。

